



※下記5コースの画像はイメージです。

Aコース

三木武夫先生を偲ぶ

日帰り

催行日
2026年
11月9日(月)旅行代金
(昼食付)

(未定)

募集人員

40名様
(最少催行人員20名様)

出発 徳島駅 09:00	観光 土成中央公園 09:35 ~ 09:45	観光 おもてなし公園（生家跡） 09:50 ~ 10:00	参拝・説話 神宮寺（墓参・住職説話） 10:00 ~ 11:00	昼食 かねぎん坂野 11:10 ~ 12:10	観光 阿波の土柱 12:45 ~ 13:15	到着 徳島駅 14:10 :00
	土成中央公園 限られたスペースに広場や噴水、展望デッキを備えたトイレ等を巧みに融合してドライブや散歩を楽しむ人々に憩いのスペースを生み出しています。南北に細長い公園の北端には、地元出身の元総理大臣三木武夫のブロンズ像が建立されています。		神宮寺（墓参・住職説話） 三木武夫の菩提寺（ぼだいじ）であり、三木家ゆかりの地として深い関係があります。神宮寺は「牡丹寺」としても有名で、三木元首相の故郷である土成のシンボル的存在であり、彼の人生と地域とのつながりを示す重要な場所です。			
	おもてなし公園（生家跡） 生家跡は遍路道に面しており公園として整備されています。公園内のケヤキは「三木」に因み三木まとめて植えられたもの。中庭には三木が好んだハナミズキや、母屋の踏み石が残されており、記念碑と合わせて三木を偲ぶことができます。		かねぎん坂野 昭和46年創業。大きな広間でいただく御所のたらいうどんは、数種の出汁を合わせた生姜風味の卵入り出汁つゆ。お好みで天かすを入れると、甘味が感じられ、出汁つゆは最後まで飲み干してしまう美味しさです。		阿波の土柱 世界三大土柱の一つに数えられる自然の芸術。砂礫層が長い年月の雨水浸食によって削られ、巨大な土の柱やカーテン状の袈が林立する奇觀を形成しました。国の天然記念物「波濤嶽」を筆頭に圧倒的造形美を誇ります。四国八十八景にも選定されており地球の躍動を肌で感じられる名勝です。	

Bコース

四国遍路 一番札所～三番札所巡り

日帰り

催行日
2026年
11月9日(月)旅行代金
(昼食付)

(未定)

募集人員

40名様
(最少催行人員20名様)

出発 徳島駅 08:30	参拝 金泉寺【第三番】 09:00 ~ 09:50	参拝 極楽寺【第二番】 09:55 ~ 10:35	参拝 霊山寺【第一番】 10:40 ~ 11:20	観光 大谷焼の里 11:30 ~ 12:30	昼食 山のせ 松茂店 12:45 ~ 13:35	買物 道の駅くるくるなると 13:40 ~ 14:40	到着 徳島駅 15:00
	亀光山 釈迦院 金泉寺【第三番】 聖武天皇の勅願で行基が「光明寺」を建立しました。後に巡教中の弘法大師が日曜に吉しむ村人のため井戸を掘ると、靈水が湧きました。この「黄金の井戸」に因み、寺名は「金泉寺」へ改められました。		竺和山 一乗院 霊山寺【第一番】 弘仁6年、弘法大師が四国巡教中に37日間の修法を行った際、多くの僧侶が老師の説法を聴く光景を鑑視しました。その光景が天竺の靈鷲山での迦葉の説法に似ていると感じ、インドの靈山を和国に移す意味で「竺和山・靈山寺」と名づけられた。				
	日照山 無量寿寺 極楽寺【第二番】 弘法大師がこの地で21日間修業、その結果現れた阿弥陀如来の姿を彰し本尊としています。極楽浄土をイメージしたような庭園が広がる。44段程の石段を上ると本堂があり、その右手奥が大師堂で、大師像は「安産大師」とも呼ばれています。		大谷焼の里 鳴門に古くから伝わる大谷焼は徳島を代表する焼物で、水がめやスイレン鉢など大物陶器が有名。国の伝統的工芸品の指定、徳島県の伝統的特産品に認定されています。最近では花瓶や湯呑み等の生活雑貨も作られ素朴な陶器として人気があります。			道の駅くるくるなると 鳴門市や鳴門レンコン、鳴門鯛など「地域特産物」をテーマに、農産物や名産グルメ、スイーツがお買い求めいただけます。食事処も充実し、施設内には鳴門市を見渡せる屋上ジップラインや屋上デッキがあります。魅力溢れる鳴門を楽しめる「体験型食のテーマパーク」です。	

Cコース

大塚国際美術館と鳴門の渦潮

日帰り

催行日
2026年
11月9日(月)旅行代金
(昼食付)

(未定)

募集人員

40名様
(最少催行人員20名様)

出発 徳島駅 08:30	観光 鳴門公園 09:10 ~ 09:40	観光 大鳴門橋遊歩道 涡の道 09:50 ~ 10:20	観光 うずしお観潮船（鳴門観光汽船） 10:25/10:45 ~ 11:10/11:30	昼食 アオアヲナルトリゾート 11:35 ~ 12:45	観光 大塚国際美術館 12:50 ~ 14:50	到着 徳島駅 15:20
	鳴門公園（千畳敷） 鳴門海峡に面して広がる鳴門公園にある展望台です。大鳴門橋の間に望む絶景は、国が「名勝鳴門」として指定し、その歴史・文化的価値を保護することで素晴らしい景観を後世に伝えています。観賞価値が高く、記念撮影に最適です。		うずしお観潮船（鳴門観光汽船） 鳴門の渦潮は、船に乗って初めてその雄大な様を実感できます。大型観潮船「わんだーなると」（定員395名）と、世界初の水中観潮船「アカアエディ」（定員42名）があり、今回はわんだーなるとで自然のショータイムをご覧いただけます。			
	大鳴門橋遊歩道 涡の道 鳴門市と淡路島を結ぶ大鳴門橋の橋桁内に整備された海上遊歩道。全長約450メートル、海面からの高さ約45メートルを誇ります。ここでは、世界でも有数の自然現象「鳴門の渦潮」を真正上から間近に観察できます。		アオアヲナルトリゾート 阿波郷土料理「彩」で、徳島・鳴門の海の幸と郷土の味を堪能できるランチバイキング。鳴門鯛や鳴門わかめを使ったお刺身、鳴門金時の大ぶり、自分だけの海鮮丼、鳴門金時や徳島の惣菜など約60種類の和食がお召上がりいただけます。		大塚国際美術館 鑑賞ルートは約4kmにもおよび、展示されているのは、陶器の大きな板に原画に忠実な色彩・大きさで作品を再現した陶板名画です。世界26ヶ国190余りの美術館が所蔵する名画1,000点余りを特殊技術で原寸大に再現されています。	

Dコース

藍染体験と酒蔵巡り

日帰り

催行日
2026年
11月9日(月)旅行代金
(昼食付)

(未定)

募集人員

40名様
(最少催行人員20名様)

出発 徳島駅 08:30	体験（ハルカ染め40分） 藍住町歴史館 藍の館 09:00 ~ 10:00	工場見学・試飲 太閤酒造場 日新酒類 10:10 ~ 11:40	試飲・販物 本家 松浦酒造場 12:25 ~ 13:15	昼食 山のせ 松茂店 13:30 ~ 14:30	販物 道の駅くるくるなると 14:35 ~ 15:15	到着 徳島駅 15:40
	太閤酒造場 日新種類 江戸末期創業の伝統を守りつつ「日々、新なり」を掲げる徳島の酒類総合メーカーです。金賞通算20回受賞の清酒「瓢太閤」や、特産の鳴門金時・すだちを活かした焼酎やリキューを展開。確かな技と地域愛で、多岐にわたる銘酒を届けています。		山のせ 松茂店 モダンな和風の店内は開放的で明るい印象。たらいどんと押し寿司が一押しです。徳島のお土産として、代表的な鳴門金時やわかめはもちろん山のせのたらいどんや押し寿司などもご購入いただけます。		藍住町歴史館 藍の館 文化5年築の母屋や3棟の藍加工場が残る阿波藍商の屋敷で、当時の隆盛を偲べます。藍栽培のプロセス展示に加え、伝統ある天然藍を用いた藍染めを体験します。歴史的な空間で優れた藍色の伝統に触れれば、阿波藍が持つロマンに魅せられることでしょう。	
	本家 松浦酒造場 創業文化元年（1804年）徳島最古の酒蔵。築200年以上の旧仕込み、母屋などがあります。直売所（ナルトタイの店）では袋しぼり、無濾過生原酒など限定酒から定番酒の試飲があります。お気に召されたお酒は、その場で購入もできます。		道の駅くるくるなると 鳴門・徳島両ICを繋ぐ国道11号沿いに位置する「四国・鳴門のゲートウェイ」です。交通の要所としてのハブ機能を備え、鳴門金時やレンコン等の特産物を活用した「食のテーマパーク」として交流人口拡大の拠点となっています。			

Eコース

秘境！祖谷のかずら橋・大歩危峡

1泊2日

催行日
2026年
11月9日(月)
~10日(火)旅行代金
食事
(宿2,夕1,朝1)付

(未定)

募集人員

15名様
(最少催行人員10名様)

1日目	出発 徳島駅 09:00	自由散策 うだつの町並み（脇町南町地区） 09:50 ~ 11:20	昼食 吉野川ハイウェイオアシス 12:05 ~ 13:05	途中下車 ホテル祖谷温泉周辺 14:10	観光 小便小僧・祖谷渓 14:15 ~ 14:25
2日目	出発 祖谷温泉 09:00	観光 祖谷のかずら橋 09:10 ~ 10:00	観光 大歩危峡観光遊覧船 10:35/10:40頃 ~ 11:10/11:35	途中下車 RiverStation West-West(リバーステーション ウエストウェスト) 11:45 ~ 12:45	

	うだつの町並み 脇町に位置し、江戸時代の藍商人の栄華を伝える町並みです。隣家との間に設けられた防火壁「うだつ」が歴史の深さを物語ります。		**吉野川ハイウェイオアシス** 徳島自動車道直結の複合施設。吉野川を望む美肌の湯や、地元食材を堪能できる飲食店、特産品が揃う直売所を併